

平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年9月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 メディカルー光

コード番号 3353 URL <http://www.m-ikkou.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 管理本部長 (氏名) 西井 文平

TEL 059-226-1193

四半期報告書提出予定日 平成22年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第2四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第2四半期	8,920	4.6	457	△2.7	429	3.7	245	21.7
22年2月期第2四半期	8,528	—	470	—	413	—	201	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第2四半期	12,800.43	—
22年2月期第2四半期	20,814.01	—

(注)平成21年12月1日付で、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。詳細については、3ページ「(ご参考)株式分割に伴う遡及修正値」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第2四半期	11,259	3,437	30.5	179,887.61
22年2月期	10,862	3,307	30.4	171,829.04

(参考)自己資本 23年2月期第2四半期 3,437百万円 22年2月期 3,307百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	3,500.00	3,500.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	3,000.00	3,000.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,333	0.9	826	△15.3	750	△16.0	362	△20.7	18,902.65

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期2Q 20,350株 22年2月期 20,350株

② 期末自己株式数 23年2月期2Q 1,243株 22年2月期 1,102株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年2月期2Q 19,193株 22年2月期2Q 9,702株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(ご参考) 株式分割に伴う遡及修正値

当社は、平成21年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しました。当該株式分割が前期首に行われたと仮定した場合の、1株当たり情報は次のとおりであります。

	1株当たり四半期純利益	
	円	銭
23年2月期第2四半期	12,800	43
22年2月期第2四半期	10,407	00

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善や緊急経済対策等の効果により景気回復の兆しが見られましたが、依然として厳しい雇用情勢に加え、海外経済の減速懸念や急激な円高進行など、先行き不透明な情勢の中で推移いたしました。

このような経営環境の中で当社グループは、コア事業である調剤薬局事業におきましては、体制強化を推進しつつ業務の拡大に向け取り組むとともに、医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品の普及促進が推進されている状況下を好機と捉え、積極的な営業活動を推進してまいりました。また、ヘルスケア事業におきましては、有料老人ホームを新たな成長エンジンと位置付けし、今期から3年間で10施設の開設を経営目標とし、持続的かつ安定的な成長に向けて取り組みを強化してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は、売上高8,920百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益457百万円（前年同期比2.7%減）、経常利益429百万円（前年同期比3.7%増）、四半期純利益245百万円（前年同期比21.7%増）となり、いずれも順調に推移いたしました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

（調剤薬局事業）

調剤薬局事業におきましては、平成22年4月に薬価改定及び調剤報酬改定が実施され、業界全体に大きく影響をもたらしました。当社では、経営の効率化を推進する中で収益力の向上に取り組んでまいりました。その結果、既存店舗では処方箋必需枚数が増加し、売上高は前年を上回り、売上高8,276百万円（前年同期比4.4%増）、営業利益600百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

（医薬品卸事業）

医薬品卸事業におきましては、ジェネリック医薬品の普及促進策が進められる中で、売上高328百万円（前年同期比4.5%増）、営業利益21百万円（前年同期比0.1%増）となりました。（内部売上高を含む売上高は442百万円となり前年同期比8.9%増加）

（ヘルスケア事業）

ヘルスケア事業におきましては、既存の介護施設3施設に加え、平成22年8月にハーモニーハウス出雲（島根県）を開設し、開設に伴う費用20百万円を計上したものの、既存施設が順調に推移した結果、売上高277百万円（前年同期比9.7%増）、営業利益24百万円（前年同期比39.8%減）となりました。

（不動産事業）

不動産事業におきましては、安定した賃料収入により、売上高37百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益20百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

なお、セグメント間の内部売上高として114百万円（前年同期比18.5%増）を消去するとともに、全社における共通経費として209百万円（前年同期比0.8%減）を計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は11,259百万円となり、前連結会計年度末と比較し397百万円増加いたしました。

流動資産の合計は4,893百万円となり、前連結会計年度末と比較して353百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加190百万円、及び売掛金の増加113百万円によるものです。

固定資産の合計は6,366百万円となり、前連結会計年度末と比較して44百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加70百万円、投資有価証券の減少57百万円によるものです。

負債総額は7,822百万円となり、前連結会計年度末と比較して267百万円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加199百万円、及び長期借入金（1年内返済予定を含む）の増加130百万円によるものです。

純資産は3,437百万円となり、前連結会計年度末と比較して129百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益245百万円、配当金の支払額67百万円によるものです。この結果、自己資本比率は30.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の四半期末残高は2,081百万円となり、前連結会計年度末と比較して190百万円増加いたしました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は365百万円(前年同期は478百万円の増加)となりました。主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益464百万円、仕入債務の増加額198百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加額113百万円、法人税等の支払額255百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は176百万円(前年同期は94百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出173百万円と、投資有価証券の売却による収入94百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は1百万円(前年同期は196百万円の増加)となりました。主な要因は、長期借入金の純増加額130百万円と配当金の支払額67百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の連結業績予想につきましては、平成22年4月7日公表の数値から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

① 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、原則的な方法によっております。繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に大幅な経営環境の変化がないこと、また、一時差異等の発生状況に著しい変化がないことが認められるので、前連結会計年度末に使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,088,426	1,898,076
売掛金	1,926,848	1,813,474
商品	716,472	700,561
その他	163,627	129,942
貸倒引当金	△2,000	△1,900
流動資産合計	4,893,374	4,540,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,399,861	2,415,676
土地	1,731,889	1,726,479
その他（純額）	223,426	142,785
有形固定資産合計	4,355,177	4,284,942
無形固定資産		
のれん	948,489	988,306
その他	86,378	87,386
無形固定資産合計	1,034,867	1,075,693
投資その他の資産		
投資有価証券	236,176	293,654
敷金及び保証金	480,092	444,761
その他	259,776	222,849
投資その他の資産合計	976,044	961,265
固定資産合計	6,366,090	6,321,900
資産合計	11,259,464	10,862,054
負債の部		
流動負債		
支払手形	7,469	8,357
買掛金	2,424,539	2,224,765
1年内返済予定の長期借入金	1,259,064	1,412,341
未払法人税等	231,185	263,189
賞与引当金	110,909	95,650
その他	177,665	250,965
流動負債合計	4,210,834	4,255,270
固定負債		
長期借入金	3,209,999	2,926,321
退職給付引当金	250,132	227,237
その他	151,386	145,860
固定負債合計	3,611,517	3,299,418
負債合計	7,822,352	7,554,689

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	837,050	837,050
利益剰余金	1,891,683	1,713,362
自己株式	△209,633	△179,134
株主資本合計	3,436,099	3,288,278
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,012	19,087
評価・換算差額等合計	1,012	19,087
純資産合計	3,437,112	3,307,365
負債純資産合計	11,259,464	10,862,054

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
売上高	8,528,522	8,920,143
売上原価	7,608,028	7,996,681
売上総利益	920,494	923,462
販売費及び一般管理費	450,222	466,036
営業利益	470,271	457,425
営業外収益		
受取利息	1,001	937
受取配当金	803	849
受取保証料	1,074	936
助成金収入	—	5,296
その他	1,929	3,823
営業外収益合計	4,808	11,843
営業外費用		
支払利息	40,327	35,526
持分法による投資損失	15,556	—
その他	5,220	4,357
営業外費用合計	61,104	39,883
経常利益	413,975	429,384
特別利益		
投資有価証券売却益	—	31,732
保険解約返戻金	541	—
受取補償金	—	5,238
特別利益合計	541	36,970
特別損失		
固定資産売却損	12,169	—
固定資産除却損	591	1,906
賃貸借契約解約損	5,528	—
特別損失合計	18,289	1,906
税金等調整前四半期純利益	396,227	464,448
法人税、住民税及び事業税	209,244	230,901
法人税等調整額	△14,973	△12,142
法人税等合計	194,271	218,759
四半期純利益	201,956	245,688

【第 2 四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結会計期間 (自 平成21年 6 月 1 日 至 平成21年 8 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (自 平成22年 6 月 1 日 至 平成22年 8 月31日)
売上高	4,249,770	4,425,045
売上原価	3,808,545	3,974,371
売上総利益	441,225	450,673
販売費及び一般管理費	224,678	227,484
営業利益	216,547	223,189
営業外収益		
受取利息	653	628
受取配当金	796	840
受取保証料	528	459
助成金収入	—	3,647
その他	946	1,596
営業外収益合計	2,924	7,171
営業外費用		
支払利息	20,836	17,651
持分法による投資損失	4,891	—
その他	2,957	2,496
営業外費用合計	28,685	20,148
経常利益	190,786	210,212
特別損失		
固定資産売却損	1,356	—
固定資産除却損	529	442
特別損失合計	1,885	442
税金等調整前四半期純利益	188,900	209,770
法人税、住民税及び事業税	67,792	75,149
法人税等調整額	25,403	25,381
法人税等合計	93,195	100,530
四半期純利益	95,704	109,239

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	396,227	464,448
減価償却費	108,398	110,705
のれん償却額	39,816	39,816
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	100	100
賞与引当金の増減額 (△は減少)	14,558	15,259
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	15,968	22,894
受取利息及び受取配当金	△1,805	△1,786
支払利息	40,327	35,526
持分法による投資損益 (△は益)	15,556	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△31,732
固定資産売却損益 (△は益)	12,169	—
固定資産除却損	591	1,906
賃貸借契約解約損	5,528	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△123,451	△113,373
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,926	△15,911
仕入債務の増減額 (△は減少)	211,499	198,886
その他	△62,953	△71,382
小計	662,605	655,357
利息及び配当金の受取額	1,215	1,206
利息の支払額	△40,294	△35,227
法人税等の支払額	△144,586	△255,467
営業活動によるキャッシュ・フロー	478,941	365,868
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△65,498	△173,288
有形固定資産の売却による収入	11,214	—
無形固定資産の取得による支出	—	△3,113
投資有価証券の取得による支出	△5,767	△35,908
投資有価証券の売却による収入	—	94,596
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△10,229	—
長期前払費用の取得による支出	△14,806	△20,680
差入保証金の差入による支出	△8,120	△40,564
差入保証金の回収による収入	7,853	5,862
その他	△8,904	△3,853
投資活動によるキャッシュ・フロー	△94,259	△176,948

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	—	△30,000
長期借入れによる収入	800,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△557,709	△869,598
リース債務の返済による支出	—	△1,104
自己株式の取得による支出	△2,912	△30,498
自己株式の売却による収入	5,100	—
配当金の支払額	△48,450	△67,368
財務活動によるキャッシュ・フロー	196,028	1,430
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	580,709	190,350
現金及び現金同等物の期首残高	1,428,125	1,891,018
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,008,834	2,081,368

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成21年3月1日 至平成21年8月31日)

	調剤薬局 事業 (千円)	医薬品卸 事業 (千円)	ヘルスケア 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,924,281	314,319	253,043	36,877	8,528,522	—	8,528,522
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,520	92,601	2,582	—	96,704	(96,704)	—
計	7,925,802	406,920	255,626	36,877	8,625,226	(96,704)	8,528,522
営業利益	599,966	21,353	39,924	19,963	681,207	(210,935)	470,271

当第2四半期連結累計期間(自平成22年3月1日 至平成22年8月31日)

	調剤薬局 事業 (千円)	医薬品卸 事業 (千円)	ヘルスケア 事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	8,276,584	328,534	277,639	37,384	8,920,143	—	8,920,143
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	114,434	182	—	114,617	(114,617)	—
計	8,276,584	442,969	277,822	37,384	9,034,761	(114,617)	8,920,143
営業利益	600,665	21,370	24,044	20,514	666,594	(209,169)	457,425

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の事業の内容

- (1) 調剤薬局事業・・・処方箋受付専門の医薬品の販売を行っております。
- (2) 医薬品卸事業・・・医療機関等へ医薬品の販売を行っております。
- (3) ヘルスケア事業・・・介護施設の運営、医療施設等の賃貸業務、及び医療・介護に付随する業務を行っております。
- (4) 不動産事業・・・一般不動産を所有し賃貸業務を行っております。

3 事業区分の変更

(前第2四半期連結累計期間)

「調剤薬局事業」「医薬品卸事業」「介護事業」「不動産事業」としておりました事業区分を、第1四半期連結会計期間から「調剤薬局事業」「医薬品卸事業」「ヘルスケア事業」「不動産事業」の4区分といたしました。

「介護事業」に医療機関への賃貸業務を加えたものを「ヘルスケア事業」、一般不動産の賃貸業務のみを「不動産事業」とするものです。

当社グループは、ビジネスモデルである介護と医療の複合施設の開発を推進しております。平成20年12月には㈱ヘルスケアー光が運営する医療モールの隣接地に、3施設目となる有料老人ホームを開設いたしました。介護施設と医療機関は密接な連携が必要であり、当該事業を「ヘルスケア事業」として一元的な収益管理を行うこととしたための変更であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、従来の区分による事業の種類別セグメント情報は次のとおりであります。

（株）メディカルー光（3353）平成23年2月期 第2四半期決算短信

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）

	調剤薬局 事業 (千円)	医薬品卸 事業 (千円)	介護事業 (千円)	不動産事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,924,281	314,319	188,838	101,083	8,528,522	—	8,528,522
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,520	92,601	182	2,400	96,704	(96,704)	—
計	7,925,802	406,920	189,021	103,483	8,625,226	(96,704)	8,528,522
営業利益	599,966	21,353	16,606	60,567	698,493	(228,221)	470,271

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の事業の内容

- (1) 調剤薬局事業・・・処方箋受付専門の医薬品の販売を行っております。
- (2) 医薬品卸事業・・・医療機関等へ医薬品の販売を行っております。
- (3) 介護事業・・・介護施設、有料老人ホームの運営を行っております。
- (4) 不動産事業・・・医療施設等の不動産を所有し賃貸業務を行っております。

(所在地別セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

(海外売上高)

前第2四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年8月31日）及び当第2四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年8月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。